

## 【基本情報】

令和元年度 現在（学長については令和元年10月1日現在）

創立年	昭和51年				
学長	大西隆	平成26年4月	就任		
学部	工学部				
大学院研究科数	1	共同利用・共同研究拠点数	-	面積 土地	359,893 m <sup>2</sup>
附属病院規模	- 床	国際共同利用・共同研究拠点数	-	建物(延べ)	114,506 m <sup>2</sup>
学生数				教職員数	
学部 (男子)	1,001 人	修士・専門職(男子)	732 人	常勤教員総数	211 人
(女子)	151 人	(女子)	68 人	(附属病院系教員)	- 人
専攻科 (男子)	0 人	博士課程(男子)	89 人	常勤職員総数	141 人
(女子)	0 人	(女子)	17 人	(医療系職員)	1 人
別科 (男子)	0 人	学生数のうち留学生数	268 人		
(女子)	0 人				

## 【財務情報】

平成30年度分

(単位：百万円)

【貸借対照表】	【損益計算書】	【収入内訳】	決算額
固定資産	20,371	運営費交付金	3,769
(土地)	9,639	施設整備費補助金	504
(建物)	7,687	学納金収入	1,150
(投資有価証券)	-	附属病院収入	-
流動資産	2,466	経常利益	168
(現金及び預金)	2,353	臨時損益	0
(未収入金)	109	当期純利益(純損失)	168
(有価証券)	-	目的積立金等取崩額	45
資産の部合計	22,837	当期総利益(総損失)	213
固定負債	3,799	【収入内訳】	
(長期借入金等)	45	運営費交付金	3,769
流動負債	2,121	施設整備費補助金	504
(未払金等)	756	学納金収入	1,150
負債の部合計	5,921	附属病院収入	-
純資産の部合計	16,916	長期借入金収入	-
負債・純資産の部合計	22,837	産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,362
		その他	913
		収入計	7,698
		【キャッシュ・フロー計算書】	
		業務活動によるキャッシュ・フロー	450
		投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 612
		財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 48
		資金期首残高	2,563
		資金期末残高	2,353
		【附属病院セグメント】	
		業務費用	-
		業務収益	-
		業務損益	-
		【債務償還関係支出】	
		長期借入金償還金	12

財務諸表、決算報告書、附属明細書より要約、抜粋

## 【財務指標等】

平成25年度～30年度

## [6年間の推移]

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
人件費比率(%)	50.0 (56.1)	51.3 (57.9)	54.7 (59.4)	54.2 (61.0)	53.6 (60.8)	53.1 (60.3)
自己収入比率(%)	35.1 (42.8)	35.7 (41.0)	37.2 (41.0)	37.4 (43.0)	40.3 (42.5)	42.4 (43.3)
教育経費比率(%)	16.7 (14.4)	17.2 (13.7)	15.2 (13.3)	14.5 (12.6)	15.1 (12.6)	13.6 (12.7)
研究経費比率(%)	30.5 (24.8)	29.7 (23.3)	28.6 (22.9)	27.6 (22.3)	28.7 (22.2)	30.2 (22.6)
学生一人当たり教育経費(千円)	618 (445)	599 (442)	521 (420)	519 (381)	525 (382)	475 (384)
教員一人当たり研究経費(千円)	11,173 (8,475)	10,336 (8,177)	9,531 (8,055)	9,520 (7,681)	9,585 (7,724)	10,301 (8,049)
附属病院業務費用回収率(%)	-	-	-	-	-	-
減価償却累計率(%)	48.4 (48.0)	53.6 (50.6)	58.0 (52.2)	60.8 (55.3)	63.5 (57.6)	64.7 (60.3)
附属病院資産収益率(%)	-	-	-	-	-	-
附属病院債務償還負担度(%)	-	-	-	-	-	-
教員一人当たり学生数(人)	9.4 (12.4)	9.4 (12.3)	9.2 (12.2)	9.2 (12.2)	9.1 (12.4)	9.3 (12.5)
大学院生割合(%)	83.7 (43.4)	81.4 (42.7)	84.1 (43.3)	80.2 (43.4)	79.6 (44.4)	80.0 (46.1)

( ) は特性区分における平均を示しております。

「教育経費」、「研究経費」には、人件費等が含まれていないことに留意する必要があります。